

# オートストップ水栓

商品のお問合せは TOTO お客様相談室へ



**0120-03-1010**

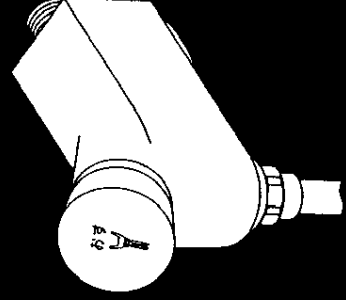
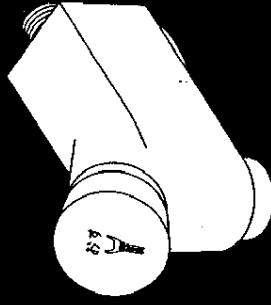
受付時間 9:00～17:30 (土・日・祝日を除く)

**TOTO**

## 取扱説明書

■このたびは、TOTO オートストップ水栓をお求めいただきまして、まことにありがとうございます。この説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

■この説明書は、大切に保存しておいてください。



### もくじ

安全上の注意	1
特長・各部のなまえ	2～3
使い方	3
使用上の注意	3
流量(水勢)の調節	4
吐水量又は吐水時間の調節	4
整流キャップの掃除	5
手入れのしかた	5
故障したときは	5

# 安全のために必ずお守りください

ご使用前に、この「安全上の注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

- この説明書では、機器を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味はつぎのようになっています。

**⚠ 注意** この表示の欄の内容を無視して誤った取扱いをすると、傷害または、物的損害が発生する可能性がありますを示しています。

- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる場所に必ず保存してください。

## ⚠ 注意

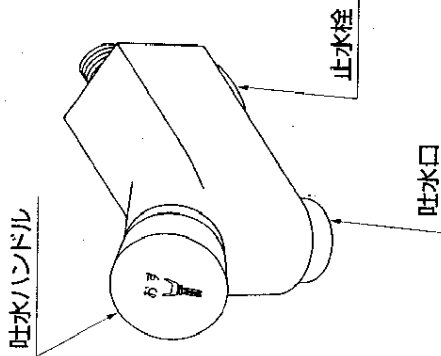
(1) シャワーをお使いになる前に、必ず手で適温かどうかを確かめてください。高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。(シャワー付)

(2) 熱湯をお使いのときには、カランは高温になっています。直接肌を触れないでください。やけどをするおそれがあります。(カラン付)

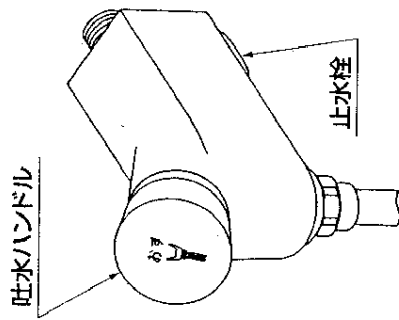
# 特長・各部のなまえ

1. 吐水ハンドルを押すだけで一定量（オートストップスパウト）又は一定時間（オートストップシャワー金具）吐水し、自動止水する機能を備えていますので節水省エネに役立ちます。
2. 吐水量・吐水時間の調節が簡単にできる調節機能を設けています。
3. 圧力調整や内部の分解・清掃に便利な、止水栓を設けています。

オートストップスパウト  
TMF19AX



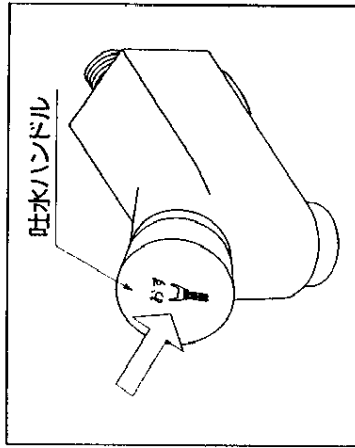
オートストップシャワー金具  
TMF19CX



付 属 工 具	数
開閉工具	1

# 使い方

## 吐水

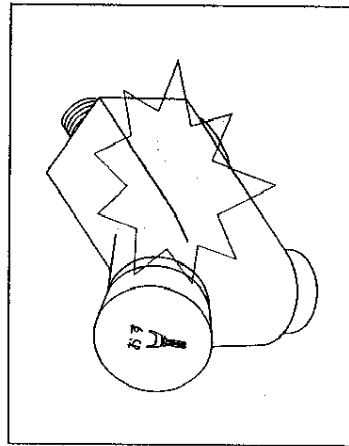


吐水ハンドルを手で押し下して離すと一定量（オートストップスパウト）又は一定時間（オートストップシャワー金具）吐水し、自動的に止水します。

# 使用上の注意

熱湯を使用の場合は、やけどなどの事故がないよう、必ず次の注意事項を守ってください。

## やけどに注意

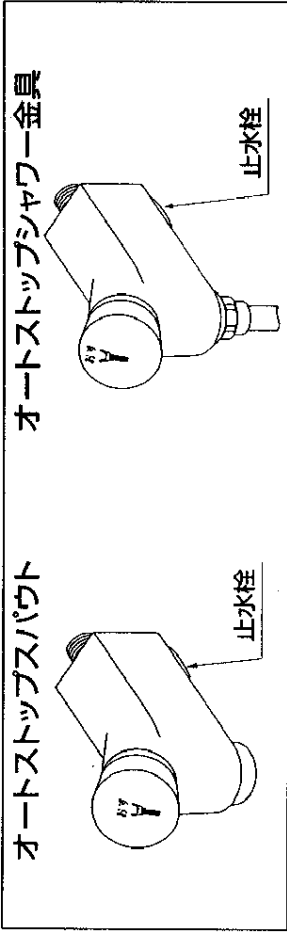


高温吐水中は、金具の表面は熱くなりまですので、直接ふれないでください。

# 流量（水勢）の調節

流量（水勢）の調節は止水栓で行ってください。

右回転…流量（水勢）は少なくなる。左回転…流量（水勢）は多くなる。



# 吐水量又は吐水時間の調節

吐水量又は吐水時間を調節する場合は次の要領で行ってください。

(1) 止めねじを緩めてキャップを引抜き取外す。

(2) ドライバーでロックナットを緩める。

(3) ロックナットの穴よりドライバを差し込み、吐水量調節ねじを回転させて調節する。

オートストップスパウト

一回転で約2Lの調節ができます。

オートストップシャワー金具

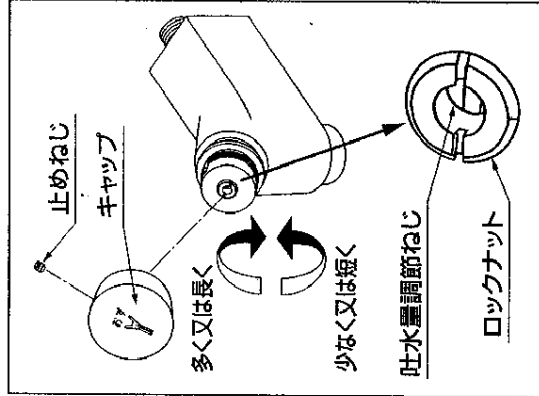
一回転で約15秒の調節ができます。

右回転…吐水量が多くなる。

吐水時間が長くなる。

左回転…吐水量が少なくなる。

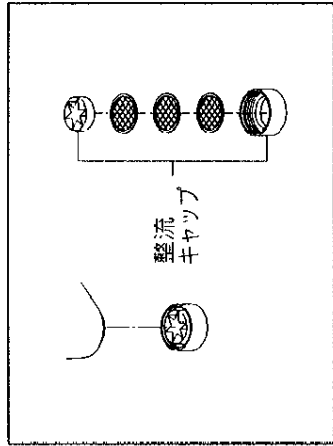
吐水時間が短くなる。



(4) ハンドルを一度押して吐水量又は吐水時間を確認する。

(5) 調節が終わったらロックナットを確実に締付けた後、キャップをマークが正面を向くようにはめ込み、止めねじが緩まないよう十分に締付ける。

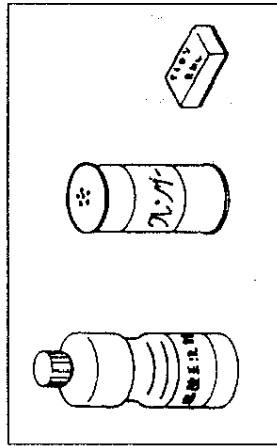
## 整流キャップの掃除 (オートストロップの場合)



整流キャップがつまると、吐水が乱れたり、吐水量が少なくなると機能が十分に発揮されなくなり、また、ときどき整流キャップを取外し掃除してください。

## 手入れのしかた

いつまでも美しさを保つために柔らかい布でみがき、めっさされたところはときどきシン油やカーワックスなどをしみこませた布でみがいてください。ただし樹脂部（ハンドル・シャワーなど）に付着すると光沢を失いますので、付着しないよう十分注意してください。



クレンザー・みがき粉などや粗い粒子を含む洗剤及びナイロンたわなどはめっき面を傷つけますので使用しないでください。また酸性洗剤はめっきを侵しますので使用しないでください。まちがって使用したときはすぐに水洗いしてください。

## 修理を依頼される前に

簡単な故障は容易に直せますので修理を依頼される前に下表の点検をしてください。

故障内容	点検	点検項目
流量が多すぎる	①	① 止水栓の開度は適当か。 ② 吐水量又は吐水時間の調節は適当か。
流量が少なすぎる	①	
水が止まらない	④	
吐水時間が長い	②	
吐水時間が短い	②	③ 整流キャップのごみづまりはないか。
吐水量が多い	① ②	
吐水量が少ない	① ②	④ シートにごみかみはないか。
スパウトの吐水状態が乱れる	③	

※点検方法は「流量（水勢）の調節」、「吐水量又は吐水時間の調節」、「整流キャップの掃除」の項を参照ください。

●メモしておくくと便利です。

購入年月日	購入店名
年 月 日	電話 ( )

故障したときの修理はお取付工事店にご依頼ください。なおご不明な点がございましたらお客様相談室にお問合わせください。